

目次

執筆者一覧	2
はじめに	3

I. パーキンソン症候群について知ろう

1. 神経変性疾患とは	8
2. パーキンソン病、レビー小体型認知症	10
3. 進行性核上性麻痺	18
4. 大脳皮質基底核変性症	22
5. 多系統萎縮症	26

II. パーキンソン症候群の摂食嚥下障害の特徴

1. 正常な嚥下	34
2. 嚥下造影検査による評価	38
3. パーキンソン症候群で注目すべき7つの所見	40
4. パーキンソン病、レビー小体型認知症の摂食嚥下障害の特徴	46
Case Study 1 Off時の嚥下障害が強いパーキンソン病患者に対するアポモルヒネ皮下注の使用	52
5. 進行性核上性麻痺の摂食嚥下障害の特徴	54
6. 大脳皮質基底核変性症の摂食嚥下障害の特徴	58
7. 多系統萎縮症の摂食嚥下障害の特徴	60

III. パーキンソン症候群の摂食嚥下障害への対応

1. 嚥下障害のスクリーニング	64
2. 服薬時の観察点、対処法	68
Case Study 2 咽頭での内服薬の停留がno-on現象の原因になったパーキンソン病患者	70
3. 歯科学的な問題への対応	72
4. 食形態の調整	78
5. 食事からみるパーキンソン症候群	86
6. 摂食嚥下障害のリハビリテーション	92

IV. 進行期のパーキンソン症候群患者への対応

1. 摂食嚥下障害を原因とした身体への問題	100
2. 在宅療養での注意点	102
3. 胃瘻造設の有効性と問題点	108
Case Study 3 食道での内服薬の停留が日内変動の原因になったパーキンソン病患者	112
4. 誤嚥防止術	114
Case Study 4 誤嚥防止術が有効であった大脳皮質基底核変性症患者	118

Column L-dopa test	25	本書に登場するおもな疾患名と英文表記	120
脳深部刺激療法と嚥下運動	51	索引	121
咳嗽反射	57		
咽喉頭異常感症	67		
液体ととろみ	91		
歯と摂食嚥下	111		